

令和5年度筑豊ブロック会議 活動報告

日 時：令和6年1月19日（金）15：00～17：30

場 所：モトノキノウエ（飯塚市飯塚18-3元野木書店2階）、飯塚本町・東町商店街

参加者：33名

令和5年度会議テーマ：「まち」を動かす

1. 事例発表



テーマ：まちづくりの持続可能性について

発表者：株式会社スキマニヤモリ 代表取締役 元野木 正比古 氏

140年以上続く元野木書店の7代目となる元野木正比古氏は、街の賑わいを創出するため、まちづくり会社「スキマニヤモリ」を2021年に創設し、地域に密着した活動に取り組んでいます。

今回は事業とボランティアの違い、お金の考え方、人の巻き込み方など、事業を継続するために必要なことをお話いただきました。

まちづくりをゲームのように見立て、「主役は自分ではなく、地域に飛び込んでくる人たち（勇者）。その人たちを見つけること（仲間づくり）が自分のまちづくり。」という内容はとても印象的でした。

2. リノベーション店舗見学会

商店街にある空き店舗のリノベーション（改修）を進めている元野木氏から、実際に改修した店舗を紹介いただきました。古本屋だった店舗を古着屋としてオープンさせた店主の方は、「最近では地域の人と触れ合うような機会がないまま、大学生・社会人として県外に出てしまうので、地元にもそのような場所を提供したい。」と語られていました。

参加者からは、「店舗の方の生の声が聞けてよかった。」といった感想が述べられました。



店舗の方から話を聞く参加者

3. 意見交換会

テーマ：これから求められるまちづくりとは

参加者同士の交流を深めること、まちづくりの課題を考えることを目的に、地域づくり団体や大学生、自治体職員など様々な立場での意見を交換しました。最後は各グループで発表を行いました。元野木氏の話で取り上げられた「決算書に落とし込むまちづくり」が必要であることや、事業を持続するためには体制を見直すことが大事だという意見がありました。

参加者からは、「各地域共通の課題を認識できてよかった」「色々な立場で活動されている方の話が聞けて非常に刺激になった」といった感想が述べられました。



意見交換会のようす